

資材注文サイト開設

長野県のJA佐久浅間は、組合員専用の「生産資材受注サイト」を開設し、試験運用を始めた。スマートフォンやパソコンからインターネット経由で手軽に注文できるシステムで、組合員サービスの向上や業務の効率化につなげる狙い。当面は予約注文書と併用し、組合員への周知を図ってサイトの普及を進める。10月下旬の運用開始から約1カ月間で150人の登録があり、注目を集めている。

長野・JA 組合員サービス向上へ 佐久浅間



JA担当者の説明を受けてサイトで資材を発注する
磯貝さん⑥

同サイトは、2021年度の春肥の予約注文が始まる10月からの運用を目指す。NTTデータの協力を得て開発。資材を取り扱う営農経済部生産資材課と、事業改革の中核を担う企画総務部事業改革推進課を中心に協議を重ねて約2カ月で試験運用にこぎ着けた。

組合員コードなどの初期登録をするだけで、手軽に注文できることをコンセプトに開発した。現在、水稻を中心に肥料や農薬、各種資材など予約品200点、当用品60点を掲載し、24時間注文が可能。価格設定は予約と当用の2種類のみと明確化し、支払いは口座振替の他、当用はクレジット決済もできる。

今後、野菜や果樹用の資材など取扱品目を増やす予定。

定。販売傾向などを分析して随時、商品の入れ替えや新商品の追加なども行う。新型コロナウイルスの影響で、組合員への訪問などの活動が制限される中、スマートフォンなどから注文できる手軽さが注目されて問い合わせも多い。

JAでは窓口の営農経済部生産資材課を中心に各専門委員会や部会などにPRし、普及に取り組む。11月の組合員訪問で昨年度の実績データから水稻農家約9000戸に対し、従来の予約注文書に受注サイトのちらしを同封して配布した。

JAさく野菜部会葉洋菜専門部の副部長を務める佐久市三河田の磯貝武晴さん(64)は「家にいながら発注できる手軽さが良い。購入履歴も確認できるので、在庫管理などに役立てたい」と話す。

営農経済部生産資材課の内堀長仁課長は「サイトを有効に運用して、組合員により多くの情報を提供し、注文窓口を広げることで利便性と農家所得の向上につなげたい」と意気込む。

(長野・佐久浅間)